

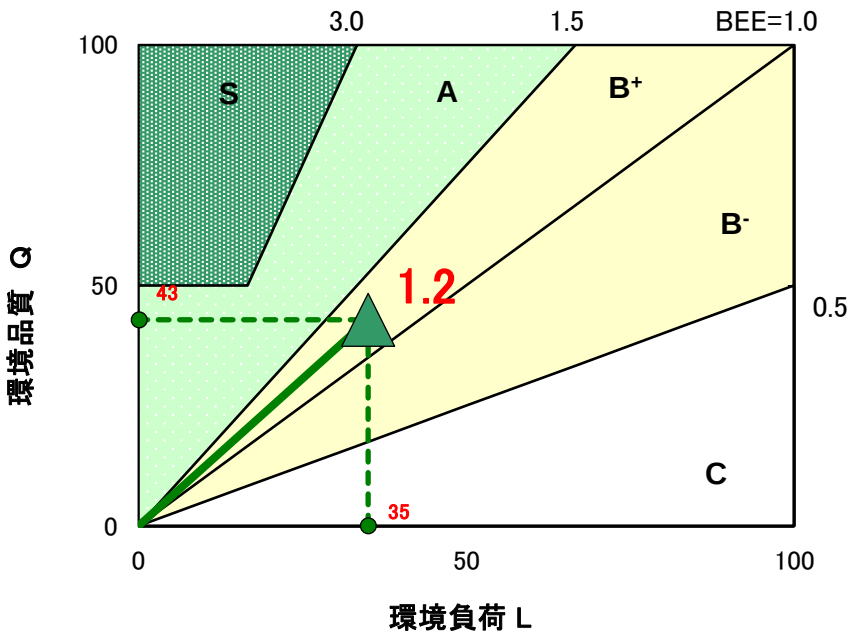
CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(株)アステム新熊本営業部新築工事	階数	地上2F+PH階		
建設地	熊本県熊本市中央区八王寺町931番	構造	S造		
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	0 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年		
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年1月23日		
敷地面積	7,213 m ²	作成者	臼井 千尋		
建築面積	3,334 m ²	確認日	2018年1月23日		
延床面積	5,179 m ²	確認者	定森 淳一		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)





BEE = 1.2

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



排出率
79%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点
82

重点事項	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	93.2
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	56.2
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	80.0
【重点事項4】 循環型社会の実現	87.7

■ 熊本県重点評価基準

判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

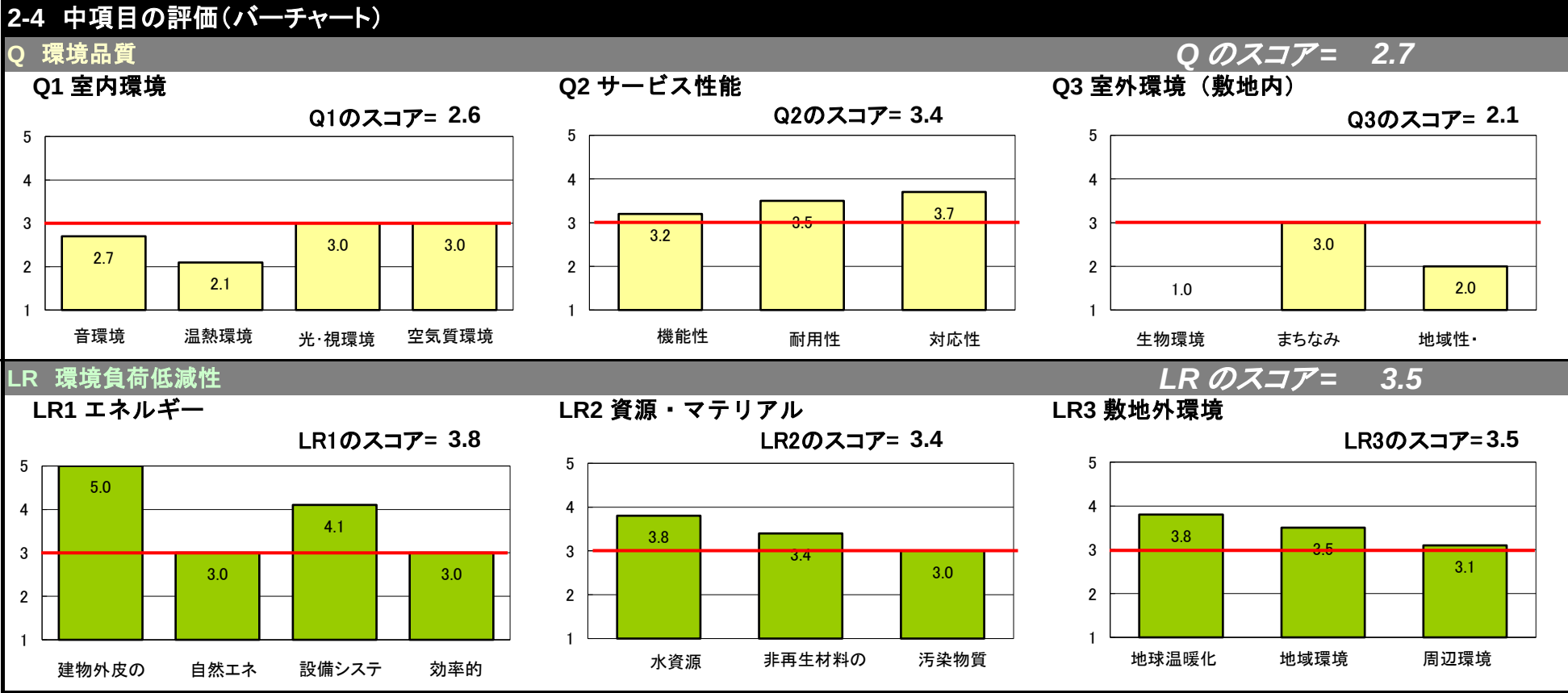
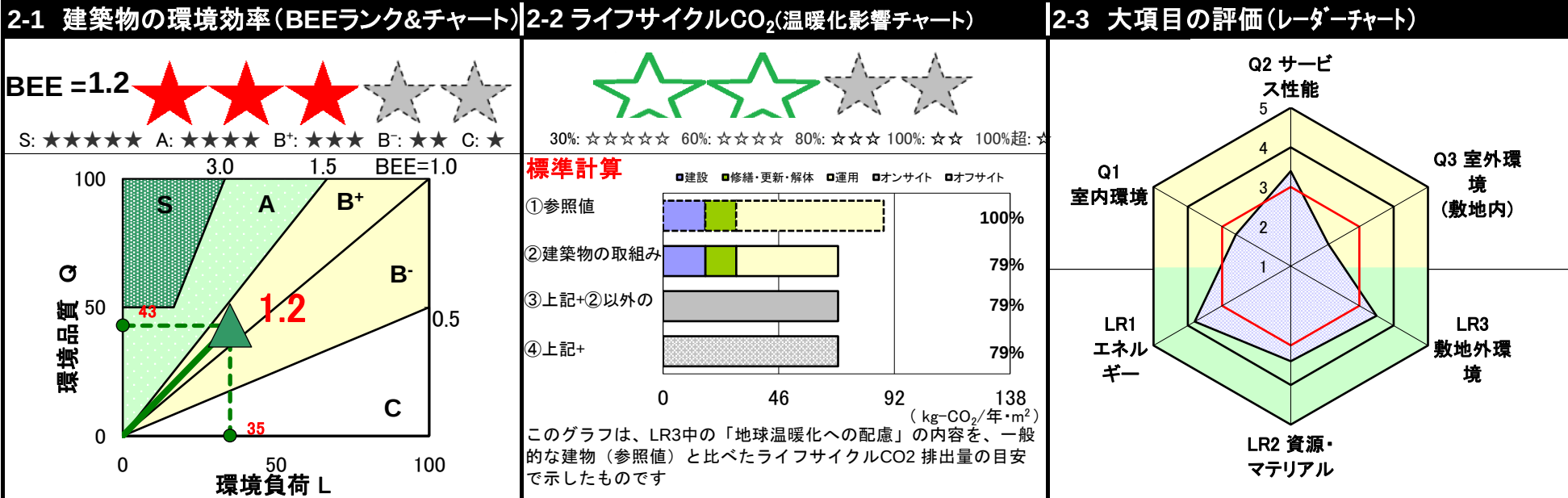
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(株)アステム新熊本営業部新築工事	階数	地上2F+PH階	
建設地	熊本県熊本市中央区八王寺町931番	構造	S造	
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	111 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年1月23日	
敷地面積	7,213 m ²	作成者	臼井 千尋	
建築面積	3,334 m ²	確認日	2018年1月23日	
延床面積	5,179 m ²	確認者	定森 淳一	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(株)アステム新熊本営業部新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.7	
Q1 室内環境					0.35	-	-	2.6	
1 音環境				2.7	0.15	-	-	2.7	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				1.8	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音		営業フロア床・天井の二面に吸音材を使用		4.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.1	0.35	-	-	2.1	
2.1 室温制御				3.2	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		営業フロア外壁U=0.544,開口部SC=0.6,U=2.4		4.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-		
1 昼光率				1.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		営業フロア:庇+ブラインドで昼光制御		4.0	1.00	-	-		
3.3 照度		2階営業フロア:照度747.9lx		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-	3.0	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		内装仕上・下地材・天井内に使用する材料はF☆☆☆☆とする		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				2.6	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能		営業フロア:自然換気有効開口面積1/30以上		4.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御				1.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4	
1 機能性				3.2	0.40	-	-	3.2	
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応		営業フロア:OAフロア,コンセント容量50VA/㎡以上,LANケーブル引込		5.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画				1.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		営業フロア:天井高3.0m		5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		2階営業フロアの1%以上の2階食堂36㎡+別場所に自動販売機設置		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画				3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		外壁にフッ素樹脂塗装をする等、防汚性に配慮した設計		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30	-	-	3.5	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準法の1.25倍の耐震性		4.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:タイルカーペット20年,壁:塩ビシート貼20年,天井:ホード張30年		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途:給水管、汚水排水管、通気管:C以上、Eは不使用		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		個別に換気・空調制御可能		4.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		過半に節水型器具を採用,可能な限り系統を区分,井水の利用		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		通信情報網の多様化,地下空間への精密機器設置なし		4.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性				3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	事務所・工場用途:3.9m以上 壁長さ比率＝0.15	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		事務所用途:2900KN、工場用途:7800KN	4.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.35	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			複層ガラスを採用	5.0	0.10	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.69	4.1	0.56	-	-	4.1
4 効率的運用				3.0	0.23	-	-	3.0
4.1 モニタリング	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護				3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水	過半に節水コマ及び省水型器具を使用			4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	井水をトイレ洗浄水に利用	4.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減	2.1 材料使用量の削減		— 地業:再生クラッシュラン,ホーチ陶磁器質タイル,外構:再生アスファルト	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			OAフロアの採用	4.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
	LR3 敷地外環境				—	0.30	-	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出量=79%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止	2.1 大気汚染防止		ガス燃焼設備の使用なし	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	駐輪・従業員駐車場,荷捌き用車両を分離	4.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		光害チェックリストの過半,広告物照明の扱いチェックリストの一部を満たす	3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

太陽光発電設備を設置し、非常用発電機と連携し、再生エネルギーを導入。

井水をトイレ洗浄水に利用し、資源・マテリアルに配慮。

Q1 室内環境

営業フロアの音・温熱・光・視・空気質環境に配慮。

Q2 サービス性能

耐震性能は基準法の1.25倍の構造とし、建物の信頼性に配慮。

Q3 室外環境（敷地内）

可能な限り植栽を設ける。既存緑地を保存し、敷地内環境に配慮。

LR1 エネルギー

省エネルギー性能に配慮している。

LR2 資源・マテリアル

過半に節水コマ及び省水型器具を使用。

井水をトイレ洗浄水に利用。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO₂排出量=79%で地球温暖化に配慮。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (株)アステム新熊本営業部新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		82
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				93.2	0.40	37.28
Q1-2.1.2	外皮性能	4.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	4.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.1	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				56.2	0.20	11.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	4.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				80	0.20	16.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	4.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				87.7	0.20	17.54
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数